

祝！自衛官候補生入隊式



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は4月6日（月）、陸上自衛隊板妻駐屯地（御殿場市）で行われた「自衛官候補生課程入隊式」に参加し、県内出身隊員を激励した。

桜咲く春うつらかな中、本来ならば家族を迎えて盛大かつ厳かに執り行われるところ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来賓や家族の参加を見送り、参列隊員全員がマスクを着用して距離を置くなど、これまでにない記憶に残る入隊式となった。

代表の気合いの入った号令の下、新入隊員が一斉に統率のとれた動作と、曇りのない眼光を披露し、一週間前に着隊したとは思えない逞しさを見せた。

第34普通科連隊長・深田満男一等陸佐は「これからつらい訓練もあると思うが、下積みの時代を乗り越え、自ら望める世界を進んでもらいたい。いつおとされるかもしれないその時に備えるため、厳しい訓練に耐え、与えられた任務を全うし、国民の期待に応えること。常に全身全霊をもって、崇高な任務に向き合うように」と力強く要望し、訓示とした。

式後、新入隊員からは「忙しい毎日ですが充実しています」「体力面が心配ですが、心強い同期がいるので一緒に切磋琢磨して頑張ります」と、それぞれ前向きな気持ちを心強く語っていた。

静岡地本は引き続き新入隊員と綿密に連絡をとり、家族との架け橋となるようサポートしていく。

富士山の麓で、がんばれ！自衛官候補生



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・宮川知己一等空佐）は4月21日（火）、陸上自衛隊板妻駐屯地（御殿場市）において「令和2年度自衛官候補生前期教育」を受けている新入隊員を激励した。

当日は霊峰富士が見守る中、新入隊員たちが自衛官となるべく「自衛隊体操」の教育を受けていた。情熱溢れる教官から、一挙手一投足に注意を払った懇切丁寧な説明を受けた後、富士山にこだまするような大きな掛け声とともに、元氣いっぱい練習していた。

自衛隊体操とは、自衛官として必要な基礎体力を効率的かつ効果的に身に付けさせる自衛隊独自の体操で、陸上と航空自衛官なら誰もが身体で覚えている。体操は21の動作からなり、四体の動きを極限まで追求する。体力に自信のある者もない者も関係なく、決められた動作を反復することにより、必ず自衛官として必要な体力が身につくとともに、全員と動きを合わせることを追求するため、団結力も自ずと身につく。

新入隊員は「初めての自衛隊体操は想像以上に難しい。早く体で覚えたい」「ラジオ体操よりも相当ハードです」と感想を話し、まだまだごこない様子ながらも、同期とともに切磋琢磨していた。

静岡地本は今後も、新入隊員の激励や取材を積極的に行い、無事の卒業までしっかりと見守って行く。